

Yumeko Tamada

玉田夢子

RECORD (全組合女子シングルスカルに出場)

- 第28回全国高等学校選抜ボート大会 第9位
- 平成29年度青森県春季ボート選手権大会 第1位
- 第70回青森県高等学校総合体育大会 第52回ボート競技 第1位
- 第43回東北高等学校ボート選手権大会 第3位
- 第44回東北総合体育大会ボート競技会 第72回国民体育大会東北ブロック大会 第2位
- 平成29年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会 第65回全国高等学校選手権競漕大会 第6位
- 第72回国民体育大会ボート競技 第3位

高校に入學して始めたボート競技は3年目。今までで一番の好成績だった国体3位に両親は喜んでくれたと微笑みます。「特にシングルスカルは一人きりでずっと同じ動作を繰り返す競技。練習はつらいですが、結果が出ると楽しいです。」自宅にも設置した器具「エルゴメーター」を朝30分、部活で50分と、水上をおよそ15km程度漕いだものに匹敵するトレーニングに毎日励みます。

春には仙台大学に入學を決めている高校3年生は、ボート競技において、2020年にベストな世代。その目はしっかりと、その先にある夢を見据えています。



1



2

- 大会に臨む玉田さん。
- 国体3位を報告する訪問では、市長と腕相撲対決に圧勝。

DATA

- 平成11年10月9日生(18)
- むつ工業高校3年
- モチベーションアップの方法は、YouTubeで面白い動画を観ること
- 初めて東北大会へ出場した1年生の大会前日に食べた大生牛丼チェーンの「そぼろ丼」。以降大会前は必ずそぼろ丼を食べることにしている。



Souma Hayato Tsubo

坪颯馬・颯登

坪颯登(弟) RECORD

- 東日本フェンシング大会第2位
- 第3回全国中学生大会第2位
- 2017ジャパンカップカデ国際大会 アジアカデサーキットサーブル大会和歌山大会 個人第3位 団体(日本)優勝
- 2017アジアカデサーキットシドニー大会 個人第8位 団体(日本)優勝
- ヨーロッパカデサーキットハンガリー大会出場
- ヨーロッパカデサーキットイギリス大会 個人第21位 団体(日本)準優勝

坪颯馬(兄) RECORD

- 全国高等学校総合体育大会 個人エペ第4位
- ヨーロッパカデサーキットハンガリー大会出場
- ヨーロッパカデサーキットドイツ大会出場
- ヨーロッパカデサーキットイタリア大会出場(予定)

DATA

颯馬(兄・左)

- 平成14年2月27日生(15)
- 田名部高校1年
- 好きな食べ物はハンバーガー
- 結果にとられず、楽しむことを考えて試合に臨む

颯登(弟・右)

- 平成15年5月21日生(14)
- むつ中学校2年
- 嫌いな食べ物はない
- アップを十分に行うのがモチベーションアップの方法



自身も国際大会に日本代表として出場したこともあるお父さんの指導のもと、弟は4歳、兄は6歳からフェンシングを始めた坪兄弟。中学2年と高校1年にして、すでに世界の場を渡り歩いています。「2020年という目標はありますが、自分たちの上にはまだまだ強い世代が。もちろんそのような選手を超える選手になって、いずれはオリンピックに出たいです。」とおふたり。

「カデ」という世代の日本代表に名を連ねる坪さんたちの今後の活躍を期待せずにはられません。



1



2

- 練習の様子。左が兄颯馬さん。
- 表敬訪問の際には、市長とハンマーゲーム対決。世界レベルの瞬発力を披露した。

RECORD

- 平成29年度青森県春季陸上競技選手権大会 女子砲丸投 第5位
- 第70回青森県高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子砲丸投 第2位 女子円盤投 第3位
- 第72回東北高等学校陸上競技大会 女子砲丸投 第6位
- 第72回国民体育大会陸上競技青森県選手選考会 兼第48回東北陸上競技選手権大会青森県選手選考会 女子少年B砲丸投 第1位 女子円盤投 第3位
- 第42回青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会 女性砲丸投 第2位 女子円盤投 第1位
- 第22回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 女子砲丸投 第5位 女子円盤投 第6位
- 第72回国民体育大会陸上競技 女子少年B砲丸投 第3位



Sena Kikuchi

菊池聖奈

DATA

- 平成14年2月10日生(15)
- 田名部高校1年
- 音楽を聴くのが好き。
- AAA(トリプルA)が気に入っている。
- 試合前はお母さんが食事で応援してくれる。「きちんと勝つ」のチキンカツと「Winner(勝者)」のワインナーは最高



投てきの選手だったお父さんの勧めで始めた陸上種目、投てき。国体3位という好成績を収めた今も「昨年はインターハイや国体に出ることが目標でした。今後は、そのような大会で通用する選手になっていきたいです。自分たちの世代はレベルが高いため、頑張らないと。」と謙虚な面持ちの菊池さん。今後は陸上競技に取り組むのはもちろんですが、それを言い訳にせず、勉学にも励み大学に進学したいと、自身の将来像を語ってくれました。

まずは、今年も必ず全国の舞台へ。その着実に前を見る菊池さんを私たちが応援します。



1



2

- えびめ国体での表彰式の様子
- 玉田さんと同日に表敬訪問した菊池さんもまた、市長と腕相撲対決。

Souta Fujimori

藤森颯太

RECORD

- 第38回東北中学校サッカー大会優勝
- 第48回全国中学校サッカー大会優勝 決勝戦2得点
- 高円宮杯U-15東北みちのくリーグ トップリーグ優勝
- 高円宮杯第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会出場



1



2

- サッカー部は部員119名。藤森さんはその中でも今季常にスタメンに名を連ねた。
- コーチ陣にいる成田鷹見さんもむつ市出身で、自身も山田高校でプレー。エールを送ってくれる同郷のコーチがいることも安心。

全国中学校サッカー大会決勝戦で2対1で勝利、みごと全国制覇を達成した青森山田中学校サッカー部。その2点を奪取した選手がむつ市出身の藤森さんです。むつFCのメンバーとして活躍していた藤森さんは、第二田名部小学校を卒業後、青森山田中学校に入学。現在は青森市内にあるお母さんのご実家で、おじいちゃんとおばあちゃんの3人で暮らし、サッカー漬けの毎日を送っています。「中学校サッカー部」という中では選手として通用しても、全国にはクラブチームに所属する強い選手がたくさんいます。まだまだ頑張らないと。」と話す藤森さん。その先にある夢のため、自身をより上のレベルの環境に置いています。

DATA

- 平成15年7月17日生(14)
- 山田中学校2年
- 現在一緒に暮らすおばあちゃんを作るチャーハンが好物
- 好きなサッカークラブはセレッソ大阪とリアルマドリッド

